



あらしのよるに

あらしのよるに

作 木村 裕一 絵 あべ 弘士

■ くらやみの中で、オオカミとヤギが会って、オオカミが大こうぶつのヤギを食べないの
がすごく心にのこりました。 (小3)

■ あらしの夜に、まっ暗な小屋の中で、オオカミは大好物のヤギと二人っきりでずっと話
をした。すごく気の合った二人がまた会う約束をする。ちょっとドキドキする話です。ぼく
はこのお話はすごく大好きです。 (小5)

オオカミのガブとヤギのメイの友情のお話です。特にメイは、人気のある登場人物
です。この本は、他にもふくすうのしゅっぱんしゃから出ています。



『エルマーのぼうけん』

エルマーのぼうけんシリーズ

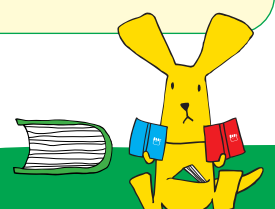
えるまーのぼうけんしりーず

作 ルース・スタイルス・ガネット 訳 わた なべ しげ お 渡辺 茂男
絵 ルース・クリスマン・ガネット

■ エルマーが冒険を始めた時、どんな冒険が始まるんだろうと思い、ページをめくって
みると、どうぶつ島があり、そこでさまざまな動物に会うエルマーは勇気があると思いま
した。 (小4/エルマーのぼうけん)

■ 主人公のエルマーがどうぶつの島でいろいろな動物に会い、最後にはつかまっていた
りゅうを助けて二人で空をとんで遊ぶという、ファンタジックで面白い話です。表紙
の絵がすごくきれいです。 (小5/エルマーのぼうけん)

空想が広がるファンタジーの名作として長い間読みつがれてきています。





『どうのたまごのたまごやき』

理論社

日本の物語 (ナンセンス)

913

No.032

王さまシリーズ

おうさましりーず

作 寺村輝夫 絵 和歌山静子

一冊一冊がおもしろくて、がいこつじけんとかあってドキドキして、中を見るとおもしろいのでぜひ読んでみてください。 (小4)

たまごの大好きな王さまがおもしろい。わがままで、いばっているけど、いいところもある王さまが大好きです。 (小1 / 王さまばんざい おしゃべりなたまごやき)

たまごやきが大好きで、言い出したらきかない、ゆかいな王さまのお話です。



『かいぞくポケット 1 なぞのたから島』

あかね書房

日本の物語 (どろぼう)

913

No.033

かいぞくポケットシリーズ

かいぞくぽけっとしりーず

作 寺村輝夫 絵 永井郁子

主人公のポケットが勇気をもって海の上で大冒険をするお話です。仲間はジャンケンポンとねこのアイコです。最初は心がバラバラだったけど、どんどん仲良くなって楽しい大冒険をするところが好きです。 (小3 / ながれ星のひみつ)

ポケットは、かいぞくのおかしら。冒険の旅で出会ったかいぶつをたおしていく。たたかってかつ所が好きです。ピンチの時の合い言葉は、ポケットケポットトッポケット。じゅもんをとなえるとなにかがおこる。 (小3 / 人魚となぞの木)

少年かいぞくのポケットがかいぞく船ポケット号にのって大かつやく!



『幽霊屋敷レストラン』

どうしんしゃ
童心社

にほんものものがたり
日本の物語 (おばけ)

913

No.034

怪談レストラン

かいだんれすとらん

責任編集 まつ たに こ 松谷みよ子 編 かいだん へんしゅう い いん かい 怪談レストラン編集委員会

絵 たかいよしかず

怪談レストランは、いろいろなキャラクターがでてきます。その中で一番好きなのがおばけのギャルソンです。なぜかといういろいろなことを紹介してくれるからです。

(小4)

幽霊屋敷レストランなので、夜に読みます。なぜかというところからです。でも、わたしはこの本が大好きです。

(小4 / 幽霊屋敷レストラン)

古今東西の怖い話がテーマ別に集められています。また、ひとつ目シェフ、おきくちゃんなど、キャラクターもおもしろいです。



『アイスマイルは永遠に』

しほ ぼう
あかね書房

にほんものものがたり
日本の物語 (どろぼう)

913

No.035

怪盗ショコラシリーズ

かいとうしょころしりーず

作 すぎ やま あきら 杉山亮 絵 こ ばやし ゆ み こ 小林裕美子

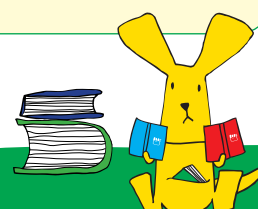
ショコラはへんそうめいじんでセーヌは運転が上手です。ベルモンドけいぶが、ショコラをつかまえてどうするか聞きたいです。

(小3)

今回は「バイクを盗んでくれ」と言われ、作戦を考え盗みました。すごい作戦でプロって思いました。協力したからこそうまくできるんだと思いました。全巻読みたいです。次はどんな物を盗むのか、ワクワクします。

(小6 / ムーンライト作戦)

怪盗ショコラたちはいらいされた物を悪人たちからとりもどします。はらはらどきどきの怪盗アクション物語。





ポプラ社

日本の物語 (おばけ)

913

No.036

角野栄子の ちいさなどうわたちシリーズ

かどのえいこのちいさなどうわたちシリーズ

作 角野栄子 絵 佐々木洋子

作者の角野栄子さんから
メッセージ…41ページ

登場人物は、おばけのアッチ、ソッチ、コッチ、エッチちゃんです。おもしろい所はアッチがころんだりする所です。一番好きな所は、アッチが畑で野菜を作っているところです。読んでみてください。…… (小3/角野栄子のちいさなどうわたち 1)

うそつきやさんのおばあさんのうそがおもしろい。うそのねだんは、あくしゅ3回。私も、うそつきやさんがもし本当にあったら1回行ってみたいと思いました。…… (小4/角野栄子のちいさなどうわたち 2)

小さなおばけのアッチ、コッチ、ソッチはとってもゆかい。作者の角野栄子さんは『魔女の宅急便』(福音館書店)を書いた人でもあります。かわいい魔女やおばけが登場する本に人気があります。



福音館書店

外国の物語 (友たち)

933

No.037

黒ねこのおきやくさま

くろねこのおきやくさま

作 ルース・エインズワース 訳 荒このみ
絵 山内ふじ江

黒ねこがおじいさんと話すところが心に残りました。さいごに黒ねこがおじいさんの家を出て行くところが悲しかったです。…… (小4)

おじいさんは、自分の夕食のミルクやパンや肉などを全部黒ねこにあげるので、とてもやさしい人だと思いました。ねこがいなくなると、空だった物がもとにもどっていて不思議でおもしろかったです。…… (小5)

冬の夜、ひとりぼっちのおじいさんは黒ねこに自分が食べるはずの食べ物をすべてあげてしまいます。翌朝、ねこが去った後におこった奇跡とは…。



ポプラ社

絵本

E

No.038

ごんぎつね

ごんぎつね

文 新美南吉 絵 箕田源二郎

一番心に残ったのは、兵十がごんを火縄銃で撃ってしまった時に、兵十がごんに「おまえだったのか、いつもくりをくれたのは。」と言う場面です。私はいつも、その場面を読むだけで感動してしまいます。(小5)

私はこのお話が好きです。さいごは、ごんが兵十に殺されてしまうけれど、兵十はごんがくりなどをくれていたことを知って、少しよかったと思います。感動的なお話なので好きです。(小5)

作者の新美南吉さんは、愛知県出身の作家です。



集英社

動物

480

No.039

シートン動物記

シートン動物記

著 シートン 訳 藤原英司 絵 木村しゅうじ

ロボは年をとった大きなオオカミで、鉄砲い外はまったくおそれません。ウシなどをすぐ殺してしまう悪いオオカミです。しかしロボは、妻のブランカを人に殺されてしまい、最後にはロボも殺されてしまいます。少し悲しかったです。

(小4/シートン動物記 1 オオカミ王ロボ ギザ耳坊やの冒険ほか)

すぐれた動物学者のシートンが書いた動物物語には、本当にあったお話が多く、動物のしゅうせいがよくわかるように書かれています。このシリーズは、全8かんです。

